

平成22年度教育委員会事務点検評価(平成21年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 9

事務事業の名称	博物館管理運営事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 博物館		
			電話番号	04-2955-3804		
実施期間	平成3年度 ~					
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H21~23)事業名	個別計画等の名称		
	1節	生涯学習の振興				
	1項	生涯学習の推進				
	2目	生涯学習の機会や場の拡充				
実施根拠	博物館法および狭山市立博物館条例					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務					
事業開始の背景等	平成3年に開館し狭山市の歴史・文化・自然等を広く啓蒙するとともに、来館者の教養を高めるために実施している。					

2 事務事業の目的・内容

目的	生涯学習の一拠点として、狭山市の歴史・文化・自然等を広く紹介するとともに、市民の学習活動を支援するため、資料の展示や講座等を開催する。	
対象	市民	
活動内容	常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗・産業・美術などを網羅的に展示し、教育普及では、体験学習を通して、広く博物館事業を啓蒙している。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	引き続き「ものづくり」に視点を置いた体験学習の充実を図ることができた。近隣の博物館には見られない講座の開催は、多くの受講者から評価されている。
環境配慮	常設展示室の照明などは、入館者を確認してから点灯するなど、無駄な電力の経費削減に努めている。	
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	体験学習や講座の件数(企画展開催時を除く)	目標値	件	13	14	13	13	過去5年間の実績値をもとに設定
		実績値		13	13	14		
		達成率		100.0%	92.9%	107.7%		
(成果指標)	入館者数(企画展開催時を除く)	目標値	人	6,876	7,488	7,986	8,808	過去5年間の実績値をもとに設定
		実績値		9,048	9,501	11,680		
		達成率		131.6%	126.9%	146.3%		

4 事業費

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
経費	直接費	予算額	千円	64,711	53,839	56,794	52,119	
		決算額	千円	63,657	52,740	56,392		
		財源内訳	国県支出金	千円				
			その他特定財源	千円	2,095	1,836	3,199	
	一般財源		千円	61,562	50,904	53,193		
	人件費	従事職員数	人	3.91	3.91	3.91		
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	35,049	35,870	35,952		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	98,706	88,610	92,344		
効率性指標	指標名	年間入館者数-企画展開催時入館者数	人	9,048	9,501	11,680	1単位当たりの経費	
	単位コスト	入館者1人当たりの経費	円	10,909	9,326	7,906		

5 事務事業の評価

第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
必要性	目的の妥当性 市民ニーズへの対応 市が関与する必要性 市が負担する必要性 など	4	生涯学習施設としての博物館の役割に沿って、各種講座やさまざまな体験学習等を開催し、市民のニーズに応えている。
		4	
有効性	活動目標の達成度 成果の向上 上位施策への貢献度 市民サービスの向上 など	4	古文書読解講座、歴史講座等を開催し狭山市の歴史を学ぶ機会の提供をした。また、体験学習を通して、伝統行事等の風習を広く市民に伝えた。
		3	
効率性	手段の最適性 コスト効率の向上 受益者負担の適正化 執行体制の効率化 など	4	受講料や参加費など、適正な受益者負担により実施している。
		4	
		< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	展示・講座・体験学習の充実により、入館者の増加を目指すとともに、施設の管理運営の効率化を図っていく。また、博物館協議会からの提言「常設展示の改修の在り方」を踏まえ、常設展示の改修について検討していく。		

6 その他(学識経験者の意見等)

博物館は社会教育・生涯学習にとって重要な機関であり、入館者数は伸びてきている。効率性指標による経費削減は進んでいる。今後は事業・活動の工夫をさらに進めることが求められる。